

# 一般会計 345億

前年度比 34億

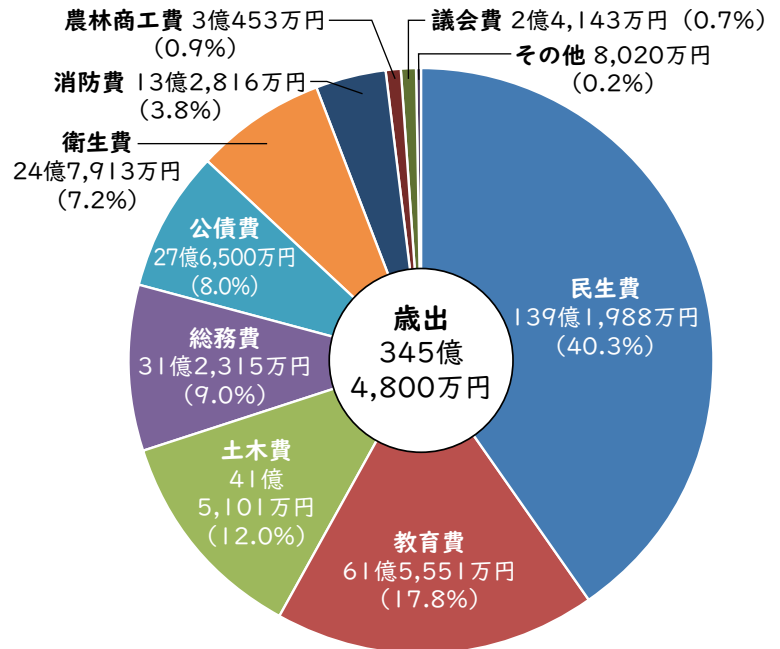
## 歳出の性質別経費の内訳

歳出を経費ごとに経済的な性質を基準として分類したものを「性質別経費」といいます。

令和7年度の歳出を性質別経費で分類すると次のようになります。

|            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 義務的<br>経費  | 扶助費         | 90億1,266万円  |
|            | 人件費         | 49億 494万円   |
|            | 公債費         | 27億6,500万円  |
| 消費的<br>経費  | 物件費         | 61億 356万円   |
|            | 維持補修費       | 1億7,229万円   |
| 投資的<br>経費  | 普通建設<br>事業費 | 53億9,685万円  |
| その他<br>の経費 | 繰出金         | 30億4,620万円  |
|            | 補助費等        | 29億3,988万円  |
|            | 積立金         | 1億5,544万円   |
|            | 予備費         | 5,000万円     |
|            | 貸付金         | 120万円       |
| 合計         |             | 345億4,800万円 |

## 〈歳出〉



人件費、扶助費、公債費の義務的経費については、前年度と比較して14億4,560万円(9.5%)の増加となっています。公債費は過去に発行した市債が順次償還を迎えたことにより、6,300万円(2.2%)の減少となっています。一方、扶助費は11億5,791万円(14.7%)の増加となっています。

消費的経費は15億1,291万円(31.8%)、投資的経費は7億2,332万円(15.5%)の増加となっています。

目的別の歳出については、前年度と比較して、消防費で4億222万円(43.4%)、教育費で16億6,192万円(37.0%)、総務費で4億4,528万円(16.6%)、土木費で2億2,688万円(5.8%)、民生費で6億7,813万円(5.1%)の増加となっています。

一方、公債費で6,300万円(2.2%)、農林商工費で575万円(1.9%)の減少となっています。

\* 数字は各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。



**【歳出編】予算の使い道**

- 民生費**  
保育所の運営費や子ども医療、高齢者などの福祉に使う経費
- 教育費**  
小・中学校や図書館の運営などに使う経費
- 土木費**  
道路や河川、公園の整備などに使う経費
- 総務費**  
職員や施設に対する全般的な管理などに使う経費
- 公債費**  
国や銀行などから借りたお金の返済に使う経費
- 衛生費**  
ごみ処理、病気予防などに使う経費
- 消防費**  
消防活動、防災関係に使う経費
- 農林商工費**  
農業の振興、中小企業の応援、就労に関する事業などに使う経費
- 議会費**  
市議会の運営に使う経費